

# GOLF TALK vol.2

福岡県を代表する男子プロゴルファー時松隆光氏。そして、時松プロを唯一無二のテンフィンガーに育てた篠塚武久先生。2回目となるゴルフトークは、二人の思い出話に花が咲いた。

父親が敬慕する篠塚先生に5歳からゴルフを習う

時松プロが5歳の時、篠塚先生のとこで習うようになったきっかけを教えてください。

**時松** もともと父が篠塚先生の大ファンで習わせたかったようです。

若い頃、競技

ゴルフアー

だった篠塚

先生は、



篠塚武久(しのづか・たけひさ) 1945年5月27日生まれ、78歳。福岡市で「桜美ゴルフハウス」を主宰。福岡大学の石迪夫教授と共同で作上げた「OSゴルフ理論」で時松隆光プロをはじめとするトッププロゴルファーを多数輩出。自身も日本オープン4回出場など、トップアマとしての実績がある。



「10本で握る テンフィンガースウィング」▶  
篠塚武久 著 ゴルフダイジェスト社

桜美  
ゴルフハウス

住所：福岡県那珂川市後野  
571(筑紫ヶ丘GC内)  
電話：090-2392-5454



# 篠塚武久

コーチ



九州で初めてナショナルチームに選ばれた方でもあり、父にとっては雲の上の存在で、ゴルフ場で見かけしても緊張して声を掛けられなかったと聞いています。

時松プロのお父様もゴルフが上手くて、シングルプレーヤーでしたね。

時松 こないだは、九州シニアの試合で予選通って、75歳で「75」のエイジシュートだって喜んでました(笑)

時松プロはどんなお子さんでしたか？

篠塚 源蔵君が小さい頃はよく一緒にパター対決をしたものです。私が負けたらジュースをおごることになっていて、源蔵君は負けたらすごい悔しがつて何度も「もう1回しよ」って言うてくる。ところが6〜7歳になった途端に「ジュースはもういいからお金をちょうだい」って言うてきたから、「この子はプロに向いてる」って確信しました。

時松 そんなこと言ったかな(笑)

納得するまで徹底追求

時松プロの少年時代

篠塚 そうそう、源蔵君が小さい頃、「ゴルフは18ホールあるけれど、海に打ち寄せる波の数も1分間に18回、自然の数と一緒に。



ゴルフは

自然の法

則にのつとつ

たスポーツなん

だよ」って話を聞

かせたことがあつて。

そしたら源蔵君、その後

ちやーんと海に行つて波の数を数え

てきたんですよ。それで、「打ち寄せる波の

数は1分間に18回じゃなかった」って言い張

るんです(笑)。おそらく、風が吹いていた

り、気象状況で打ち寄せる波の数は変わっ

てくるのでしようが、自分の目で見て確信

するまで徹底的にやる。それが普通の子と

違っていましたね。

**時松** 覚えてません(笑)

**自作の道具を使った  
ユニークな指導法**

篠塚先生は地球儀が付いたクラブや玩具の刀をつけたクラブなど、自作の道具を使ったユニークな指導法をしていらっしゃいますね。

**篠塚** 言葉では伝わりにくいので道具を使って教えています。物で教えると目で



**時松隆光**(ときまつ・りゅうこう) 1993年9月7日生まれ、30歳。福岡県那珂川市出身。沖学園高等学校卒。身長168cm、75kg。ゴルフを始めた5歳から篠塚武久氏に師事。2012年プロ入り。ツアー通算3勝。本名は源蔵で愛称は「ゲンちゃん」。2020年から2年間、ジャパングolfツアーの選手会長を務めた。

Instagram		YouTube	
-----------	--	---------	--

撮影協力 **筑紫ヶ丘ゴルフクラブ**  
 住所：福岡県那珂川市後野571  
 電話：092-952-6011




プロゴルファー

# 時松隆光

覚えるから記憶します。後は努力して自分のものにすればいい。今の子どもたちはスマホとかパットと出るものばかりで遊んで、道具で遊ばないから覚えれない。源蔵君が小学5年生の時、ライジングパットの仕組みを伝える道具を作ったんです。そしたら源蔵君がパターの練習を終えた後、いつも座ってじっと見ている。何日も何日も飽きもせず、ずっと見ているんです。

**時松** それは今でも覚えていきます！ライジングパットの道具を見ながら、パターが決まるのはどういう仕組みなのかをずっと考えていました。

**篠塚** ジュニアに教えるときは「源蔵君はこれで覚えた」って言っています。説明するとき「源蔵君はこうした」っていったらみんな大人しく聞くんです(笑)

**篠塚先生**の独創的なアイデアはいつ浮かぶのでしょうか。

**篠塚** 朝、シャワーを浴びているときです。

**時松** 滝行だ(笑)

**篠塚** 忘れたらいけないので、すぐに書きとめます。

**朝シャワー**はひらめきの宝庫ですね。

to be continued